

事業計画書及び収支予算書の認可申請書

令和5年3月6日

経済産業大臣 殿
環境大臣 殿

〒105-0011

東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館406-2

一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構

理事長 是常 博

電話番号 03-5733-5311

フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律第79条の規定により、情報処理センターの事業計画書及び収支予算書の認可を申請します。

事業所の名称 : JRECO情報処理センター

事業所の所在地 : 〒105-0011

東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館406-2

電話番号 : 03-5733-5311

なお、法律第79条第1項に規定する事項を満足し認可を受けるに資する書類として、以下の書類を添付します。

(添付書類)

1. 事業計画書 (令和5年度)
2. 予定貸借対照表および予定損益計算書 (令和5年度) (収支予算書 (令和5年度計画) を含む)
3. 予定貸借対照表および予定損益計算書 (令和4年度)

令和 5 年度事業計画書
(令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 3 1 日)

一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構
JRECO 情報処理センター

当機構は、平成 27 年 1 月 27 日付けでフロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（平成 13 年法律第 64 号。以下「法」という。）第 76 条に基づく情報処理センターに指定されたことを受け、法第 77 条に規定する業務を行う。

当機構では、令和 5 年度の JRECO 情報処理センターの事業として、業務規程に基づき、以下の業務を行う。

(1) 情報処理業務の実施に関する事項

① 情報処理業務の内容

JRECO 情報処理センターは、法第 77 条に掲げる以下の情報処理業務を令和 4 年度に引き続き適切かつ確実に実施する。

- ・ 法第 38 条第 1 項及び法第 40 条第 1 項の規定による登録に係る事務を電子情報処理組織により処理する。
- ・ 上記登録事務を電子情報処理組織として構成される電子計算機その他の機器を使用・管理、並びにプログラム、データ、ファイル等を作成し、及び保管する。
- ・ 法第 38 条第 2 項（法第 40 条第 2 項において準用する場合を含む。）の規定による通知並びに法第 38 条第 3 項（法第 40 条第 2 項において準用する場合を含む。）の規定による記録及び保存を行う。

また、本年度の情報処理業務に関して、年間登録件数は 3,500 件を見込んでいる。これは昨年度の年間登録見込み件数が 2,500 件であったが、ウィズコロナの新たな段階へ移行したことにより、経済活動の正常化とともに登録件数も復調傾向にあり、情報処理センターに関連するログブックの使用状況も堅調なことから、昨年度の登録見込み件数に伸び率（1.4 倍）を適用して見込んだものである。

なお、令和 5 年 3 月 1 日現在の情報処理センターへの管理者・廃棄者、充填回収業者の登録事業所数は下記の通りである。

- ・ 管理者・廃棄者 16,814（機器登録台数は 188,269 台）
- ・ 充填回収業者 2,395

（充填回収業者の場合、1 事業所で複数の都道府県を登録している都道府県をそれぞれ個別に累計した場合は 6,721）

② 情報処理業務に関連する問い合わせ対応や事務処理について、適正に処理できる体制の構築と、効率的な実施

人員体制は、本年度において登録件数として昨年度の1.4倍の件数を見込むが、これまでのノウハウの蓄積等の活用及び情報処理センターの利用や認知度の更なる向上のための普及啓発活動等をより効率的に実施していくため、情報システム部を3名体制としてシステムの適正な運用に当たることとする。

経理に関しては、情報処理センター利用のために預託された預かり金と、情報処理センターの利用時に利用料金として当機構が収受した金銭、及び情報処理センター利用に応じて発行する請求書や徴収する金銭については、収支計画書に基づき適切に管理する。なお、情報処理センター単体での収支実績及び計画は、令和4年度見通しは赤字、令和5年度計画は黒字の見通しとなっている。これはコロナ禍における業務形態の変化を踏まえて、収支計算書の計算方法を見直したことによる。業務のリモート化等が進められたことにより会議費等の管理費においてコロナ禍前に比べて変化が見られた。一方で、RaMS 事業から情報処理センターへの分離会計は、従来は売上比率（RaMS 全体の売上に占める情報処理センターの売上）を用いて費用を按分していたため、ウィズコロナの勤務実態を正確に反映させることができなくなっていた。そこで、令和4年度見通しと令和5年度計画において、従業員の業務量に依存する科目については、各従業員の業務量から算出した人頭比率を適用することとした。情報処理センターの収支の経年における整合性の確保のため、この計算方法を情報処理センターの事業開始当初から適用し、その結果を令和4年度期首残高に反映した。これは令和5年度以降も適用することとする。

(2) 情報処理業務に用いる設備の維持及び更新の見通し

① 機器更新や拡充等各種の機能改善の適切な実施

情報処理業務を実施するために必要な電子計算機その他の機器については、データの使用可能領域は最大6.4TB に対して、現在の使用領域は48.2GB（OS などを含む全使用容量）であるため、本年度の登録件数として1.4倍を見込んでデータ処理及びデータ容量に関しては十分な余裕があり、基本的には機器の更新や拡充の必要性はなく現状維持とするが、セキュリティの強化等の変更を必要に応じて実施することとする。

一方、現在使用しているバージョンのサポート期限満了に伴い、本年度から来年度にかけてサーバー用 OS 及びプログラミング言語のアップデートを実施する必要がある、適切に対応する。

なお、各種の機能改善については情報処理センターの利用者の利便性の向上や作業効率性を高めるため、昨年度と同様に、システム仕様の改善や追加を随時行い、継続的に改善を図ることとする。また、法令の改正に伴いシステム仕様の変更や追加等が必要とされる場合には、適正、迅速に対応する予定である。

参考として、昨年度の実績としては、以下の改善を行った。

- ・ 銀行入金データ受信について ISDN 回線からインターネット回線に変更。
- ・ 請求金額、振込先等の判りやすい請求書様式（PDF 自動発行）に改善。
- ・ ログイン時にメールアドレス変更を促す不達メール対策仕様を搭載。

- ・ メインメニューにおける ID ごとの前回ログイン履歴（日時）の表示。
- ・ クラウド用リレーショナルデータベース管理システムのアップグレード。

② システムの安定運用のための保守管理の実施

情報処理業務を実施するシステムは、これまでと同様に安定した運用を図るために高いセキュリティで保護されたデータセンター内に構築し、外部からのアクセスは暗号化された通信手段やファイアウォールによる接続制限を設けている。システムの開発、変更、維持に関する運用管理の実務は外部委託による専門業者に一任し、JRECO からのサーバーへの直接のアクセスも行えない仕組み（アクセスは Web 経由のみ）とすることで、万一 JRECO 内の情報機器に不正アクセスやウィルス感染が発生した場合でも、情報処理センターのシステムは隔離された環境としている。

委託先の運用管理者（専門業者）は、JRECO よりの要求に応じてシステムの開発や変更を行うと共に、不具合発生時の対応やサーバーの CPU 使用率によりシステム運用状況の監視を行っている。同運用管理者と JRECO とは、開発や仕様変更ならびに利用者からの問い合わせ等に対応するため 1～2 週に 1 度程度の頻度で照会や情報交換を行っており、引き続き緊密に連携して安定運用を図ることとする。

なお、安定な運用について現時点では問題なく維持されており、設備能力も前述の通り当面は拡充や能力向上を図る必要はないと考えられるので、特段の事情の変化がない限り、本年度も現在と同様のシステム体制を維持・管理することで対応を行うこととする。

(3) その他必要な事項に関する事項

昨年度は、フロン排出抑制法の内容も含め情報処理センターの意義や利用方法の広報活動を行い、情報処理センターの利用の普及・促進を図ってきた。

- ・ 情報処理センターの利用に関する Web 説明会を計 10 回開催（参加者数 517 名）
（添付資料 A）、他にも利用者の要請に対する個別 Web 説明会の開催
- ・ フロン排出抑制法及び情報処理センターに関する専用ポータルサイトの内容拡充（添付資料 B）
- ・ 動画配信サービスや SNS 媒体を利用した周知、広報活動の実施（添付資料 C）
- ・ 分かり易い提案説明書を作成し、製造業者、スーパー等小売業者、食品加工業者、ビル管理会社、大学、病院をはじめとする潜在利用者 100 社以上に個別に接触し紹介や説明を実施、また、関連団体及びその傘下の企業へ電話、メール等による周知、広報活動を実施
- ・ 大手上場企業等に SDGs（持続可能な開発目標）としてフロン類管理の CSR（ESG）報告書記載を啓発、法令遵守に関して CSR・環境関係の情報提供機関、弁護士事務所と連携して周知活動を実施
- ・ 業界紙等、関係団体（日設連・東冷協）会報への広告、記事掲載
- ・ 情報処理センター利用者への情報メールの発信、情報提供サービスの強化
- ・ 国へ検討資料用として、秘匿性を確保した形（統計データ）で RaMS データを提供

本年度においても、情報処理センター利用の一層の拡大にむけて昨年度同様に普及・広報活動を継続して行う。

- ・ Web 配信による説明会を随時開催
- ・ 分かり易い資料での潜在利用者への個別紹介、説明
- ・ 動画配信サービスや SNS 媒体を利用した情報発信
- ・ 利用者の法人名、ロゴマークの公開、事例等の紹介（添付資料D）
- ・ 業界紙等、雑誌への広告、記事掲載（添付資料E、F、G）
- ・ ポータルサイトのコンテンツ充実

添付資料


- A. 令和4年度説明会
- B. フロン排出抑制法及び情報処理センターに関する専用ポータルサイト
- C. 動画配信チャンネル
- D. 利用法人名・ロゴマーク掲載
- E. 業界紙等広告、記事（空調タイムス、日刊工業新聞、日本経済新聞）
- F. 雑誌広告、記事（冷凍空調設備）
- G. 雑誌広告（東冷協だより）

令和4年度 RaMS(冷媒管理システム)説明会 申込状況

	セミナー番号	開催場所(都市名)	開催日	申込者数	残席数	定員数	受付状況	受講者数計
1	245	東京都(Web生配信)	2022/5/11	42	▲ 2	40	終了	39
2	246	東京都(Web生配信)	2022/7/12	141	▲ 41	100	終了	105
3	247	東京都(Web生配信)	2022/7/20	90	10	100	終了	70
4	248	東京都(Web生配信)	2022/9/5	58	42	100	終了	47
5	249	東京都(Web生配信)	2022/10/6	45	55	100	終了	43
6	250	東京都(Web生配信)	2022/11/10	75	25	100	終了	67
7	251	東京都(Web生配信)	2022/12/13	68	32	100	終了	62
8	252	東京都(Web生配信)	2023/1/18	37	63	100	終了	34
9	253	東京都(Web生配信)	2023/2/16	54	46	100	終了	50
10	254	東京都(Web生配信)	2023/3/23	2	98	100	受付中	0

合計 517

JRECOホームページ
 (「フロン排出抑制法のポイントと冷媒管理システムRaMS」Web説明会)



一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構
 JRECO. Japan Refrigerants and Environment Conservation Organization

団体概要 事業内容 会員 情報セキュリティポリシー

お知らせ・新着情報

「フロン排出抑制法のポイントと冷媒管理システムRaMS」Web説明会を開催しました

令和4年12月13日(火)15:00から実施した「フロン排出抑制法のポイントと冷媒管理システムRaMS」Web説明会を、無事終了することができました。


多くの方にお忙しい中ご参加いただき、感謝申し上げます。これからもさらに内容を充実させ、よりスムーズな運営を目指したいと考えておりますので、宜しくお願い致します。

なお、次回は**令和5年1月18日(水)**15:00から開催します。



プログラムやお申し込み方法につきましては、ホームページでご案内しておりますが、下記URLからお申し込みできます。貴社内やお取引先にお知らせいただければ幸いです。よろしくお願いたします。
<https://www.jreco.or.jp/guidance.html>

なお、Webによる個別相談も下記により実施させていただきますのでよろしくお願いたします。ツールについては、Teamsのみならず、Zoomでも対応いたしますのでご用命の程お願いたします。
https://www.jreco.or.jp/guidance_bt.html

<Web説明会 視聴画面の例>



<説明会実施の様子>

一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構
 JRECO. Japan Refrigerants and Environment Conservation Organization

団体概要 事業内容 会員 情報セキュリティポリシー

フロン排出抑制法のポイントと冷媒管理システムRaMS
 Web説明会開催について

12月13日開催のWeb説明会はお陰様で多数申込みを頂き、受付終了させて頂きました。下記から次回のWeb説明会お申込みができますので、ご参加をお待ちしております。

記

【開催概要】

- ・タイトル：フロン排出抑制法のポイントと冷媒管理システムRaMS
- ・開催日時：2023年1月18日(水)15:00~16:30
- ・プログラム：

1. 開会のあいさつ
2. 第一部 冷媒フロンの課題と解決
・フロン排出抑制法のポイント
～休憩～
3. 第二部 RaMSの特徴、基本的操作と活用
4. まとめ

- ・申込期限：定員100名に到達次第締め切りさせていただきます。
- ・申込方法：下記の申込フォームより必要事項を入力の上、お申し込み願います。

申し込みはこちら

- ・参加費：無料
- ・定員：100名
- ・参加方法：セミナー開催前にお申込時のメールアドレス宛に参加方法を別途ご案内いたします。(使用するシステムはMicrosoft Teamsです。)インターネットに接続できるPCもしくはスマートフォン・タブレット端末があれば、どこからでも簡単にご参加いただけます。法の改正点について平易に解説するとともに、法律に完全準拠し、且つ使い勝手の良くなった冷媒管理システムRaMSについてデモを行いながら丁寧に説明いたします。

以上

フロン排出抑制法及び情報処理センターに関する専用ポータルサイト (https://jreco-rams.jp)

フロン排出抑制法 簡単！対策ガイド

JRECO 一般財団法人 日本冷凍・冷暖保安機構

フロン排出抑制法 簡単！対策ガイド

フロン排出抑制法対策のホームページへようこそ

「煩雑な書類管理・作成が楽になる！RaMS」資料ダウンロード

フロン対応と冷暖管理システム Web説明会お申込み

フロン対応と冷暖管理システム 個別相談会ご案内

改正フロン排出抑制法の施行 法律違反に対する罰則 が強化されます

詳細についてはこちら >>

機器・冷媒データをリアルタイムで出力・分析可能に！

New! RaMS-exでフロン管理・データ分析！

RaMSに蓄積された機器・冷媒データをエクセルデータで出力！
「機器・冷媒の棚卸し」データの集計もワンクリックで見える化！
リアルタイムでのデータ分析・解析が可能に！

詳細はコチラ ▶

HOME フロン排出抑制法による義務強化について RaMS 冷媒管理システム フロン類の環境マネジメントの必要性 フロン類算定漏えい量 団体概要 お問い合わせ

第2回 JRECOフロン対策格付け
「フロン排出抑制法」遵守状況 - 第2回格付け調査

お知らせ・新着情報

- 2022/11/10 「フロン排出抑制法と冷媒管理システムRaMS」Web説明会を開催しました。次回は12月13日開催予定。
- 2022/11/08 「RaMSご利用企業様の声」デンカ株式会社様へのビジネス情報誌オルタナによるインタビュー記事掲載
- 2022/04/25 「RaMSご利用企業様の声」三菱マテリアル株式会社 若松製作所様へのビジネス情報誌オルタナによるインタビュー記事掲載
- 2022/01/05 HVAC & R JAPAN 2022出展、RaMSの紹介を行います。
- 2021/12/22 「RaMSご利用企業様の声」北雄ラッキー株式会社様へのビジネス情報誌オルタナによるインタビュー記事掲載

新着情報

NEW フロン法・RaMS 最新資料ダウンロード

第2回 JRECOフロン対策格付け 「フロン排出抑制法」遵守状況 - 第2回格付け調査

RaMS冷媒管理システムについて

冷媒管理システムRaMSとは

JRECO 動画配信チャンネル (https://www.youtube.com/@user-yh1wn8gx8y/videos)

作井正人
@user-yh1wn8gx8y
チャンネル登録者数 19人

チャンネル登録

ホーム 動画 再生リスト コミュニティ チャンネル 概要

冷媒管理システムRaMS ~解説・操作実演 - JRECO Web説明会 (2022...
54 回視聴・1 か月前

冷媒フロンへの課題と解決~フロン管理はSDG s 対策 - JRECO Web説明会...
180 回視聴・1 か月前

7月12日第2部 フロン排出抑制法と冷媒管理システムRaMS~JRECO Web説...
62 回視聴・4 か月前

7月12日第1部 フロン排出抑制法と冷媒管理システムRaMS~JRECO Web説...
98 回視聴・4 か月前

冷凍・空調用の代替フロン
2393 回視聴・6 か月前

フロン排出抑制法と冷媒管理システムRaMS~JRECO Web説明会 第2部...
171 回視聴・6 か月前

フロン排出抑制法と冷媒管理システムRaMS~JRECO Web説明会 第1部 202...
131 回視聴・6 か月前

経営者のフロン対策 株式会社オルタナ【サステナ部員塾】2022年4月20日
58 回視聴・6 か月前

利用法人名・ロゴマーク掲載 (https://www.jreco.or.jp/rams_jirei.html)


一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構
JRECO® Japan Refrigerants and Environment Conservation Organization

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館 406-2
 TEL : 03-5733-5311 FAX : 03-5733-5312

団体概要	事業内容	会員	情報セキュリティポリシー	アクセスマップ	English
------	------	----	--------------	---------	---------

RaMS導入事例とご利用企業・法人例 (五十音順・敬称略)

掲載に了解頂いた企業・法人様

R a M S冷媒管理システム
 <情報処理センター>
[ログインページへ](#)

R a M S冷媒管理システム
 導入事例と利用企業・団体例

R a M S冷媒管理システム
 解説動画・操作動画

代替フロン
 の危機と
 経営者の責務 (動画16分)



- R a M S 導入事例**
- ・ [デンカ株式会社](#)
 - ・ [三菱マテリアル株式会社 若松製作所](#)
 - ・ [北陸ラッキー株式会社](#)
 - ・ 学校法人 慶應義塾
 - ・ [北陸電力ビズ・エナジーソリューション株式会社](#)
 - ・ [旭化成株式会社 水島製造所](#)
 - ・ [イオンデイライト株式会社](#)
 - ・ [UBE株式会社 宇部ケミカル工場](#)
- RaMSご利用されている企業・法人例 (名称掲載を了解頂いたもの)**
- | | |
|------------------------|--------------------|
| 旭化成株式会社 水島製造所 | イオングループ (23社) |
| ANAホールディングス株式会社 | カシオ計算機株式会社 |
| 学校法人 金沢医科大学 | 協同油脂株式会社 |
| クローダジャパン | 学校法人 慶應義塾 |
| 経済産業省 | 学校法人 工学院大学 |
| 静岡市中央卸売市場 | シャープ株式会社 |
| 西武鉄道株式会社 | 積水ハウス株式会社 |
| ソフトバンク株式会社 | 大王製紙株式会社 可児工場・三島工場 |
| ダイハツ工業株式会社 滋賀(竜王)工場 | 武田薬品工業株式会社 |
| 国立大学法人 千葉大学 | |
| ツルガハマランド株式会社 くだまつ健康パーク | |
| デンカ株式会社 | 学校法人 東海大学 |
| 凸版印刷株式会社 | 株式会社 日本触媒 |
| トーヨーカラー株式会社 | 株式会社 日立製作所 |
| 富士通株式会社 | ブラザー工業株式会社 |
| 北陸ラッキー株式会社 | |
| 北陸電力ビズ・エナジーソリューション株式会社 | |
| 株式会社前川製作所 | 三菱ケミカル株式会社 |
| 三菱電機株式会社 | 三菱マテリアル株式会社 若松製作所 |
| UBE株式会社 宇部ケミカル工場 | 雪印メグミルク株式会社 野田工場 |
| 株式会社リブドゥコーポレーション | |

フロン類の経営数値化を手軽に



作井 正人専務理事

局・東京都港区愛宕3-1-5(8)では、冷凍空調設備を所有する企業・団体に向けて、フロン類の経営数値化を図るとともに、同機が運営するフロン類や機器管理状況等に関する情報を把握できるクラウド型「RaMS」(ラムス)の活用を勧めています。

国内の冷凍空調市場では現在、温暖化対策としてHFC冷媒から低GWP冷媒への移行が進められ、設備所有者は安心して冷媒交換を行えるように、設備保有者は新しいHFCの調達が難しくなるとして、ストック市場での冷媒の確保が難しくなっています。また、機能・性能の向上に伴って、情報管理の重要性が高まっています。

今年度上期は過去最高クラスのペースで登録件数が増加

「RaMS」(ラムス)は、今年度上期は過去最高クラスのペースで登録件数が増加しています。これは、設備所有者が安心して冷媒交換を行えるように、設備保有者が新しいHFCの調達が難しくなるとして、ストック市場での冷媒の確保が難しくなっているためです。また、機能・性能の向上に伴って、情報管理の重要性が高まっています。

「RaMS」(ラムス)は、今年度上期は過去最高クラスのペースで登録件数が増加しています。これは、設備所有者が安心して冷媒交換を行えるように、設備保有者が新しいHFCの調達が難しくなるとして、ストック市場での冷媒の確保が難しくなっているためです。また、機能・性能の向上に伴って、情報管理の重要性が高まっています。

「RaMS」(ラムス)は、今年度上期は過去最高クラスのペースで登録件数が増加しています。これは、設備所有者が安心して冷媒交換を行えるように、設備保有者が新しいHFCの調達が難しくなるとして、ストック市場での冷媒の確保が難しくなっているためです。また、機能・性能の向上に伴って、情報管理の重要性が高まっています。

「RaMS」(ラムス)は、今年度上期は過去最高クラスのペースで登録件数が増加しています。これは、設備所有者が安心して冷媒交換を行えるように、設備保有者が新しいHFCの調達が難しくなるとして、ストック市場での冷媒の確保が難しくなっているためです。また、機能・性能の向上に伴って、情報管理の重要性が高まっています。

クラウド型冷媒管理システム「RaMS」(ラムス)とは？

フロン排出抑制法による「唯一の情報処理センター」として国に認められている一般財団法人日本冷凍・環境保全機構 (通称「JRECO」) が運営するクラウド型冷媒管理システム「RaMS」の点検記録簿は室外機1台につき、税別500円で登録が可能。次年度以降、更新料税別100円で利用できる。また、専門家による整備時のデータ入力費用は1件あたり税別100円、「行程管理票」の起票も1セットあたり税別100円となっている。現在、フロン法対応の他のクラウド型冷媒管理システムには「基本機能利用だけなら無料」というものもある。利用に費用がかかる分「RaMS」は不利となるが「フロン法によって認められた唯一の情報処理センター」であるJRECOの基幹システムである「RaMS」には、厳格な情報セキュリティが法的に課されており、安全性という意味で他の追随を許さない。圧倒的な安全性の高さが評価されていることは、旭化成、宇部興産、シャープ、ソフトバンク、ダイハツ工業、武田薬品工業、東海大学、イオングループ、カシオ計算機、西武鉄道、日立製作所などユーザーの顔ぶれをみても明らかだ(編集部註＝ユーザー名公開了承の企業・団体名リストから一部を抜粋)。「RaMS」についてJRECOは、2020年4月の法改正のタイミングで大幅なアップデートを実施。これまで「点検整備記録簿」「充填証明書・回収証明書の電子登録制度 (情報処理センター機能)」「定期点検と簡易点検の記録と履歴閲覧」「算定漏えい量の自動計算と報告様式での出力」「行程管理票」の起票・自動回付・保存」「再生証明書と破壊証明書の起票・自動回付・保存」「RaMS-exによる冷凍空調機器情報の棚卸及び管理データ解析」等の機能を備えていたが、これに「建物解体時の事前確認結果説明書」「廃棄機器の引渡時のフロン残存「0」(ゼロ)証明書」「廃棄機器の引渡時のフロン回収証明書」の起票から自動回付と保存、「漏れ法によるHFCの排出量計算出力」機能を新たに追加した(「廃棄機器の引渡時のフロン残存「0」(ゼロ)証明書」以外は無料で利用可能)。これらの作業を電子的対応で完結させることで、フロン類の管理作業一帯に今回の改正法で、不備発生時は罰金化対象となった回収依頼書 (A票)、引取証明書 (B票) の紙での交付や保存が不要になり、管理作業が大幅に削減できる上、それらの一括閲覧が可能になる点が、管理者にとっては大きな利点となる (同アップデート機能は「RaMS」ユーザーであれば追加費用なしで利用が可能)。



2月のHVAC&JAPAN2022では「RaMS」をクラウド上で実際に操作する体験コーナーも設けた

「RaMS」は今年度上期は過去最高クラスのペースで登録件数が増加しています。これは、設備所有者が安心して冷媒交換を行えるように、設備保有者が新しいHFCの調達が難しくなるとして、ストック市場での冷媒の確保が難しくなっているためです。また、機能・性能の向上に伴って、情報管理の重要性が高まっています。

令和2年4月に改正フロン排出抑制法が施行されました。RaMS利用で企業価値UP!

- ① 今回の法改正では、フロンを含む機器を廃棄する際の規制が一段と厳しくなっています。
- ② 書面の管理・保存が厳しく求められ、間接費から直接費に変わっています。
- ③ RaMSはフロン機器の管理支援ツールとして法改正にも対応し、ペーパーレス化や事務作業の省力化に貢献します。

(一財)日本冷凍・環境保全機構はRaMSを運営提供するとともに、「フロン排出抑制法」(第76-85条)に基づき、経済産業省・環境省から「情報処理センター」として指定されています。

RaMS利用でばっちり管理。地球温暖化の抑制と社会貢献!

RaMSとは

クラウド上に構築された利用者のデータ・サービスであり、データ管理機能の「クラウド型冷媒管理システム」です

安心のセキュリティ対策。第三者が個人々のRaMSデータにアクセスすることはできません

SaaS (Software as a Service)

RaMS Refrigerant Management System

事前確認結果説明書の交付・保存

引取証明書の写しの交付・回付・保存

令和2年改正法にも確実に準拠した書面を発行!

※事前確認書 (解体工事等の場合)

※引取証明書の写し (同一機種の複数台等複数台の場合)

RaMSは2011年よりフロン法の変遷に電子的に対応し2020年の改正法にも完全に準拠します!

RaMS (冷媒管理システム) に関するお問い合わせは

電話 (03) 5733-5311 月～金曜日 (祝・祭日除く) (9:00～17:00)

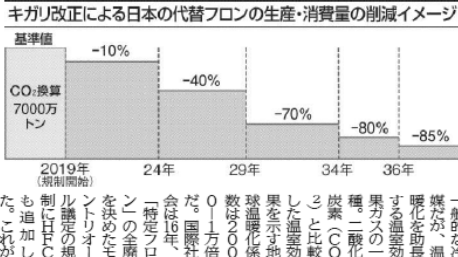
URL <http://www.jreco.or.jp>

一般財団法人 日本冷凍・環境保全機構
JRECO Japan Refrigerants and Environment Conservation Organization

代替フロン不足!? 冷媒シヨックの懸念

2024年以降空調機器や冷凍・冷蔵機が使わなくなる工場や小売店、店舗、デパートが懸念されている。冷たい空気や暖かい空気を運ぶ冷媒が不足する恐れがある。...

キガリ改正で規制 24年以降40%削減



工場・データセンター、操業停止の危機

空調・冷凍・冷蔵庫 点検を



「キガリ改正だ。冷媒不足が生じる。工場やデータセンター、店舗、デパートが懸念されている。冷たい空気や暖かい空気を運ぶ冷媒が不足する恐れがある。...

機器メーカーも対策提案

キガリ改正の規制対象は件数が少なく、業種はメカであるため、機器の備りもあつた。日本のメーカーも対策を講じている。タイキ工業は排出抑制法を提案している。...

使用済み冷媒、回収・再生

冷媒の回収と再生は、環境保護の観点から重要な取り組みである。機器メーカーやユーザーが協力して、冷媒を適切に回収し、再生して再利用することが求められる。...

フロン対策、経営者も認識を

日本冷媒・環境保全機構専務理事 作井 正人

私見 卓見

経営者に「フロン排出抑制法への対応は？」と質問して「フロンは使っていない」と回答され、驚くことがある。オゾン層を破壊する特定フロンの生産が全廃されて...

当欄は投稿や寄稿を通じて読者の参考になる意見を紹介いたします。〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7 日本経済新聞社東京本社「私見卓見」係または kaisensu@ex.nikkei.comまで。原則10000字程度。住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記。添付ファイルは迅速下さい。趣旨は変えずに手加えることがありません。電子版にも掲載します。

令和4年11月15日発行(毎月1回15日発行)第49巻 第11号 通巻567号 昭和50年7月4日第3種郵便物認可 ISSN 0285-5062

冷凍空調設備

REFRIGERATION & AIR-CONDITIONING CONTRACTORS

11

Vol.49 No.11
2022 November

令和3年度フロン類再生量・破壊量等集計結果
冷凍空気調和機器施工 問題・解答2級
第40回優良省エネルギー設備顕彰事例募集

蕪島 蕪嶋神社(青森県)

JARAC 一般社団法人 日本冷凍空調設備工業連合会

ラムズ RaMS利用で 企業価値UP!



RaMSで冷媒管理!
書類保存が確実!
クラウド管理なので安心です!

(一財)日本冷媒・環境保全機構はRaMSを運営提供するとともに、「フロン排出抑制法」(第76-85条)に基づき、経済産業省・環境省から「情報処理センター」として指定されています

「フロン排出抑制法」に準拠した冷媒管理で地球環境の改善に貢献する環境先進企業へ

デジタル化推進

デジタル化により、紙媒体をなくし、機密情報も安全に保管することが求められています。またドキュメントの電子化で、業務効率化やコスト削減ができます

地球温暖化防止

フロン類は、地球温暖化をもたらす温室効果ガスの中で二酸化炭素(CO₂)に比べ最大1万5千倍も影響があり、適正管理が必要となります

ISO14001 対応

ISO14001活動を行う中で「環境側面」として「フロン排出抑制法」対応にRaMSを利用することで効率的な管理が可能になり、審査時のエビデンスとなります

CSR 推進支援

CSRレポート・環境報告書は、法令順守、自主活動を通じ、企業の社会的責任の遂行状況を対外的に開示するものとして作成、発行が求められています

● JRECO 冷媒管理システム RaMS (ラムズ) のお問合せ先



一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構 企画・調査部
電話：03-5733-5311 E-mail: contact@jreco.or.jp
〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 406-2

そろそろ我が社もDX! 紙から電子に変えてみよう! 伝票処理を電子化・効率化

【第7回】点検・整備記録簿 (ログブック) ③

JRECO 一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構

ログブックで法令を遵守した適正な管理

今回は、取引先管理者に管理を依頼された機器の一覧が見られる「ログブック一覧」の便利な活用方法についてご紹介します。例えば、検索機能や並び替え機能を利用すると、フロン排出抑制法に基づいた定期点検や簡易点検の期限を前もって把握することができます。メインメニューの「ログブック一覧」から表示される一覧画面で、「指定しない」で検索後(図1のA)、「次回点検期限」(図1のB)の矢印ボタンをクリックすると、点検時期が並べ替えられ、点検時期が近づいている機器をすぐに把握することができます。

また、点検期限日の文字色が変わることで、点検漏れを防ぎ、計画的に次回点検を実施することが可能です(簡易点検は15日前、定期点検は30日前に「緑色」に、点検時期を過ぎると「赤色」になります)(図1のC)。

このようにログブック一覧を参照すれば、リアルタイムで機器全体の状況が把握でき、法に基づいた機器の管理をスムーズに行うことができます。また、RaMSのログブックと廃棄時の電子版行程管理票をリンクして起票することも可能となるため、機器の使用時から廃棄までの一連の流れが管理でき、取引先管理者へのサービス向上に繋がります。

A 日付は「指定しない」で検索します。

B 次回定期点検期限 上下の矢印ボタンで点検時期を並べ替えることができます。

C 点検時期が近づくと緑色、点検時期を過ぎると赤色に日付の色が変わります。

機器ごとの漏えい量もわかります!

図1 点検・整備記録簿機器一覧 (ログブック)

便利な使い方! ワンポイントアドバイス!

ログブック一覧の画面では、「簡易点検期限」または「定期点検期限」の期限を指定して機器を絞り込むことや(①)、検索後に上部メニューから簡易点検 CSV をダウンロードすることも可能です(②)。

① 期限を指定して検索

② 検索後に CSV 作成

情報処理センター機能について

管理者の方が独自のログブックを利用している場合、機器整備の充填量・回収量の登録を求められることがあります。JRECOは情報処理センターとして国の指定を受けており、情報処理センター機能を利用すれば、書面(紙)での「充填証明書」と「回収証明書」の交付が不要となります。

また、情報処理センターに登録したデータは、管理者の算定漏れ量計算の元データになり、活用できます。登録するには、実際に充填回収業者が充填・回収を行った後に、メインメニューにある「申請書作成」ボタン(図2)から「冷媒充填・回収登録申請書」へ進みます(図3)。

図2 申請書作成ボタン(緑色)

図3 情報処理センター登録画面(「冷媒充填・回収登録申請書」入力画面)

入力内容確認画面で「承諾依頼」をクリックすると、管理者へ承諾依頼のメールが送信され、同時に充填回収業者に利用料金100円+税が課金されます。管理者がRaMSにログインし、管理者承諾欄に記名し、確認画面で「登録」ボタンを押すと情報処理センターへの登録が完了します。

【次回予告】

今回は、年度ごとに行う都道府県報告について解説いたします。

TRK

令和4年9月1日発行

一般社団法人 東京都冷凍空調設備協会

東冷協だより

2022. **9・10**

No.433



● 目次

・今、思うこと..... 1	・東冷協日誌..... 28
・お知らせ..... 2	・行事予定..... 28
・技術レポート..... 20	・豆知識..... 29
・サロン..... 22	・こころのコラム..... 31
・談話室..... 23	・新聞記事情報..... 32
・行事報告..... 25	・会員動向..... 33
・業界トピックス..... 26	

ラムズ RaMS利用で 企業価値UP!



**RaMSで冷媒管理！
書類保存が確実！
クラウド管理なので安心です！**

(一財)日本冷媒・環境保全機構は RaMS を運営提供するとともに、「フロン排出抑制法」(第76-85条)に基づき、経済産業省・環境省から「情報処理センター」として指定されています

「フロン排出抑制法」に準拠した冷媒管理で地球環境の改善に貢献する環境先進企業へ

デジタル化推進

デジタル化により、紙媒体をなくし、機密情報も安全に保管することが求められています。またドキュメントの電子化で、業務効率化やコスト削減ができます

地球温暖化防止

フロン類は、地球温暖化をもたらす温室効果ガスの中で二酸化炭素(CO₂)に比べ最大1万5千倍も影響があり、適正管理が必要となります

ISO14001 対応

ISO14001活動を行う中で「環境側面」として「フロン排出抑制法」対応にRaMSを利用することで効率的な管理が可能になり、審査時のエビデンスとなります

CSR 推進支援

CSRレポート・環境報告書は、法令順守、自主活動を通じ、企業の社会的責任の遂行状況を対外的に開示するものとして作成、発行が求められています

●JRECO 冷媒管理システム RaMS (ラムズ) のお問合せ先



一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構 企画・調査部
電話：03-5733-5311 E-mail：contact@jreco.or.jp
〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 406-2

収支予算書(令和5年度計画)

(情報処理センター)

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月31日

一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構

東京都港区芝公園3-5-8
機械振興会館406-2

予定貸借対照表

令和6年3月31日

情報処理センター(指定法人)

その他会計

(単位：円)

科 目	令和5年度計画
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	500,000
流動資産合計	500,000
2. 固定資産	
ソフトウェア	0
固定資産合計	0
資産合計	500,000
II 負債の部	
1. 流動負債	
預り金	250,000
その他	177,596
流動負債合計	427,596
負債合計	427,596
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	0
2. 一般正味財産	72,404
正味財産合計	72,404
負債及び正味財産合計	500,000

予定正味財産増減計算書

令和5年 4月 1日から令和6年 3月31日まで

情報処理センター(指定法人)

その他会計

(単位：円)

科 目	令和5年度計画
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
事業収益	385,000
受取補助金	0
雑収益	0
経常収益計	385,000
(2) 経常費用	
事業費	
人件費	60,186
会議・研修費	183
旅費交通費	756
通信運搬費	1,218
減価償却費	77,212
消耗品費	23
印刷製本費	438
広告宣伝費	15,797
銀行手数料	1,991
手数料その他	4,450
租税公課	173
諸謝金	321
外注費	0
調査費	0
自己負担金	0
委託費(システム保守費等)	65,839
コンサルタント料	0
図書費	0
雑費	0
管理費	15,946
経常費用計	244,533
評価損益等調整前当期経常増減額	140,467
評価損益等計	0
当期経常増減額	140,467
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
経常外費用計	0
税引前一般正味財産増減額	140,467
法人税・住民税及び事業税	0
当期一般正味財産増減額	140,467
一般正味財産期首残高	▲ 68,063
一般正味財産期末残高	72,404
II 指定正味財産増減の部	
当期指定正味財産増減額	0
III 正味財産期末残高	72,404